

佐世保観光コンベンション協会 ミッション	<b>観光を手段とした豊かな地域づくり</b>	中長期 事業計画	・海風の国観光圏整備実施計画(2/5年) ・佐世保市観光振興羅針盤(1/4年)
「DMO」として短期的成果を重視したマーケティング志向、「観光地域づくりプラットフォーム」として長期的成果を重視したブランディング志向			

事業方針
コロナ禍では、疲弊した地域経済を回復すべく短期的成果を重視した取組を中心に行った。令和5年度から日本国内の観光需要は、特に都市圏においてインバウンドを中心に増加し、令和6年度も更なる増加が見込まれる。 地方都市である佐世保市は、日本人観光客をベースにインバウンドの誘客を強化し経済波及効果を高めるため、オンリーワンの地域を目指し、当市観光を代表する「ハウステンボス」、「九十九島」の2つのエリアと、交通の要衝で宿泊・商業施設が集積し、旧海軍とアメリカ文化が息づく「港まち・街なか」エリアを中心に、そこから広がる自然、歴史、文化など多種多様な佐世保の魅力を磨き上げ、発信していく取組を短期及び長期的成果双方のバランスを取り推進する。事業推進にあたっては、ハウステンボスや九十九島パールシーリゾート等の観光施設、宿泊施設等の地域事業者及び九州観光機構、長崎県観光連盟等の観光組織や西九州させば広域都市圏のほか九州内の自治体との連携を強化する。

KGI	KPI			
観光消費額(千円)	延べ宿泊者数(人)	来訪者満足度	再来訪意欲率	地域住民満足度
70,000,000	1,900,000人	15.0%	74.0%	27.0%

※来訪者満足度調査(リッカード尺度7段)の「大変満足」の数値

重点戦略	
1	地域資源の魅力創出と受入体制の強化・高付加価値化 ①エリアのキーとなる組織との連携によるエリアの特徴を活かした観光商品開発 ②ガストロミーツーリズムによる食ブランド化及びナイトタイムの魅力向上 ③魅力あるガイド等観光人材の育成
2	マーケティング強化及びDXによる国内観光客の誘客・利便性の向上 ①ウェブ・SNS等のオウンドメディアでの情報提供・情報発信の強化 ②受入整備の取組におけるデータ収集の視点追加 ③観光データの収集・分析結果の地域事業者等への提供と活用促進
3	インバウンド拡大に向けた取り組み強化 ①周辺自治体とタイアップした誘致・プロモーション ②インバウンド向け(FIT・団体・クルーズ客)着地型商品の開発 ③佐世保・小値賀エリアブランディング滞在モデルの作成

収支予算(千円)				公益事業費内訳(千円)※自主除く				
収入	補助金	164,066	支出	事業費	238,929	受入	29,155	35%
	負担金	0		管理費	10,410	国内	28,988	35%
	事業収益	73,961		合計	249,339	海外	20,874	25%
	会費・他	4,073		マーケティング リサーチ	4,103	5%		
	合計	242,100		合計	83,120	100%		

(参考) 令和6年のトピックス

・ハウステンボスNEW/ミッション・ディーブシー(3/15~)、ウォーターガーデン(4/27~)・佐世保港浦頭クルーズターミナル供用開始(3月~)・九十九島パールシーリゾート30周年(7/20)・北部九州総体2024(7/21~8/12)・長崎スタジアムシティ開業(10/14~)・SAGA2024国民スポーツ大会(10/5~15)・パリ2024オリピック・パラリンピック(7/26~8/11・8/28~9/8) ※R7県内トピックス:西海国立公園70周年(3/16)、ながさきピース文化祭(9/14~11/30)

令和6年度の主な取り組み										
NO	重点戦略	事業名	(千円)	事業費				成果視点		概要
				補助	委託	自主	他※	短期	長期	
1	地域資源の魅力創出と受入体制の強化・高付加価値化	ガストロミーツーリズム推進事業	2,000	○				○	○	「食」による観光コンテンツ及びナイトタイムの強化として、「魚の美味しいまち、佐世保」をコンセプトに海鮮をフックにしたメニュー開発を行い、市内飲食店等地域事業者と連携しながら観光事業への意識醸成と、市内周遊の促進を図る事業。
2		地域受入整備事業「世知原、高島、鹿町」	4,100	○ 県 含む				○	○	・世知原ならではのアウトドア資源「沢登り」を活用した体験コンテンツの造成・販売 ・高島のマリンアクティビティや魚を使ったBBQ等を活用した体験コンテンツ造成・販売 ・鹿町と近隣の産品を網羅した野外クッキングを強みとする商材を活用した体験コンテンツ開発事業
3		地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業	2,000,000	観光庁				○		観光庁の補助メニューを活用し、宿泊施設、観光施設、飲食店等の高付加価値化改修及び高付加価値化改修の効果を高める実証事業を行う。DMO及び関係者で協議した地域のビジョン・コンセプトに沿って取り組むもので、地域一体となった観光地を目指す。申請は令和6年4月予定。審査結果7月頃。(注)左記事業費は、参加事業者が直接が大半を占め、一部を除き当協会の予算に計上されません
4	マーケティング強化及びDXによる国内観光客の誘客・利便性の向上	【新】コンテンツツーリズム推進事業	8,000	○				○		これまで佐世保市で映画、ドラマなど様々なメディアで撮影の受入をおこなったものを活用し、観光客の誘致・周遊はもとより、地域住民の地域愛の向上を目的にコンテンツツーリズムを企画。ロケ地マップ等の制作、DMOウェブサイト情報ページの作成などを行う。あわせて今年放映の佐世保も舞台となったアニメ映画「きみの色」とタイアップしたキャンペーンを長崎県と連携し実施する。
5		【新】MaaSアプリ活用「観光ルートのテーマ設定及び記事作成事業」	1,660	○				○		観光客の形態は個人旅行者が多くを占めている中、顕在化した観光情報に限らず市民が親しんでいるお店や癒しスポットなどをテーマ別に焦点を当てることで、観光資源として潜在的な情報の発信を行う。土地勘の少ない観光客にその場所を案内する手法として、MaaSアプリ「STLOCAL」を活用し、個人旅行者の様々な訴求に対応する最適な情報とルート案内の実現を図る。
6		地域一体とした観光振興のためのマーケティングリサーチ強化事業	2,104	○					○	令和5年末からスタートした、佐世保市への観光客の誘客、地域全体で経済効果を狙った戦略の策定、施策の立案の為のマーケティングリサーチに必要な、人流、SNS、WEB検索などのデータを収集分析し、当該地域の観光市場の状況や今後の見通しなどを地域のステークホルダーへ情報提供・発信する事業を強化する。
7	インバウンド拡大に向けた取り組み強化	【新】アフターコロナのインバウンド訴求変化に呼応した受入体制整備事業	7,050	○					○	令和6年度から5ヵ年計画で西九州させば広域都市圏の構成市町が連携し、インバウンドをターゲットに据えた体験コンテンツの造成を進める。国内のコンテンツ企画・販売事業者を起用し、令和6年度は広域圏でのコンテンツ調査・発掘・検証を行い、次年度以降の磨き上げ、コンテンツ毎の内容・金額等のタリフ化、旅行商品等商品化に繋げる。
8		【新】市内観光施設共同「韓国プロモーション」事業	4,500	○					○	令和3年度から台湾とタイを福岡市、北九州市、日田市など北部九州の周辺自治体と誘客連携を行い、一定の成果が出てきている。令和6年度は、訪日滞在時間が短く周辺自治体と誘致に競合する韓国を佐世保市に誘客する為、ハウステンボス、九十九島パールシーリゾートなど市内の観光施設と事業費を含めた連携での共同プロモーションを実施する。
9		海風の国「佐世保・小値賀観光圏」一丁目一番地滞在モデルコース造成	未定						○	佐世保市のインバウンドのターゲットエリアは、東アジア、東南アジアだが、小値賀との海風の国観光圏のエリアブランディングでは、特に欧米等のインバウンド富裕層を狙い、数を求める低価格モデルの競争ではなく、収益重視路線の滞在モデルを造成。二次交通アクセスでは、ヘリコプターや船のエンターテイメントを検討する。実施は、小値賀町とも連携し国の補助メニュー等を狙い令和7年度以降を予定。

※補助○=佐世保市 ※他=企画事業者の受益者負担等